

10・8夢洲IR・カジノ大阪府民公聴会 500人が参加。ご協力、ありがとうございました。

大阪府民の声は、『夢洲カジノは中止』と『国と大阪府市の
"双方向の対話の場、への出席を求める』です。



↑「公聴会」の最後に、参加者みんなで「夢洲カジノ中止」「国と大阪府市は話し合いに応じよ」と声をあげた(2023年10月8日、大阪市生野区民センターホール)

●『公聴会』開催にご協力頂いたみな様 ありがとうございました

▶10月8日(日)に開催した、『夢洲IR・カジノ大阪府民公聴会～政府と大阪府市、大阪府民による「双方向の対話の場」～』は、多くの皆様にご協力いただき、500人を超える参加で無事終えることができました。参加者は大阪府内56市区町村へと広がり、府外からも多くの皆様にご参加いただきました。また立憲、共産、れいわ、社民の4党国会議員(宮本たけし衆議院議員・大石あきこ衆議院議員・辻元きよみ参議院議員・大椿ゆうこ参議院議員)にもご参加いただき、これからの運動への協力が力強く表明されました。ご参加くださった皆様、ご賛同いただき『公聴会』開催を支えて頂いた皆様に、心からお礼申し上げます。

●夢洲IR・カジノの問題点を明らかにした『公聴会』

▶『公聴会』は、関西万博工事遅延、IR・カジノ「実施協定」締結が焦点化しているこの時期に、その問題点を明らかにし、大阪府民がカジノ誘致に反対している意思を明確に示すことができました。

▶「基調・問題提起」と3人の意見公述(藤永のぶよさん[おおさか市民ネットワーク代表]・桜田照雄さん[阪南大学教授]・新川眞一さん[大阪いちょうの会])を通じて、「解除権」が規定された「実施協定」の問題点、軟弱地盤の上に埋め立てた汚染土壌の夢洲の真実、カジノ認定・認可の取り消しを進める根拠と経済効果・成長の虚構、ギャンブル依存症の本質とそこに巣くうカジノ資本の狙いなどを明らかにすることができました。

▶また5人の大阪府民による公述は、学校教職員、宗教者、青年・障がい者、府内在住外国人、大阪市此花区民など、各々の立場からなぜ夢洲カジノに反対しているのか明確に語られ、心を打ち、参加者の共感と感動を呼びました。

【裏面へ続く】

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>

〒536-0008 大阪市城東区関目6丁目4番2号カサビアンカ関目103

電話: 090-8536-3170 メール: stop-casino@vosakaf.net

● “双方向対話の場、に背を向けた国と大阪府市

▶私たちは公正な“双方向対話の場、”として『公聴会』を位置づけ、国と大阪府市の出席を強く求めてきましたが残念なことに両者とも「欠席する」と返答してきました。『公聴会』への国と大阪府市の出席を求める賛同署名は総数140人(※)。9月19日に大阪府市へ、9月20日には国土交通省観光庁へ出席要請書と賛同者一覧を直接届け働きかけました。国会議員の皆さんにもご協力いただきましたが、「欠席」との結論は変わりませんでした。

(※)国会議員5人、大阪府議会議員・府内市町村議員関係96人[大阪府内43自治体のうち39自治体]、学者・宗教者など23人、弁護士16人。これに連なる多くの府民の存在があります。

▶自ら“双方向対話の場、”をつくる必要性を言いながら、実際には出席しない。理不尽な「解除権」を規定した「実施協定」締結について府民への説明ができないから「欠席」したのだと考えます。

▶国と大阪府市が「欠席」という中で、アミカスキュリエ(第三者)を置き副首都推進本部会議で提示された「実施協定案」を説明することで、公正な“双方向の対話の場、”とした位置づけを明確にする努力を行いました。毎日新聞、朝日新聞、朝日放送でも、「市民団体の出席要請に大阪府市は応じず欠席」と報道され、社会的関心を集めることができました。

●大阪府民の運動はこれから 互いに励まされた『公聴会』



4時間に及ぶ『公聴会』にみな集中。プレイクタイムでの「替え歌」に笑み。全体討議では会場から多くの意見が出されました。

▶500人を超える参加と会場からの発言は、互いを励ましあい、参加者みんなが夢洲カジノを止めることができるという運動への核心と展望を作り出す場となりました。国と大阪府市が欠席したという事実が、現在の国・大阪府市と私たち大阪府民の力関係を表しています。

▶大阪府民による『公聴会』が、夢洲IR・カジノに反対するすべての皆さんと協力し合い、信頼を強め、より大きな大阪府民運動へと繋がるようにしていきたいと考えています。ありがとうございました。

アンケートの一部を抜粋紹介(全文はHPに掲載)

●府民の関心の高さや運動にかける情熱を感じる。これからは期待させる集会。●市長も知事も来ないのが残念。夢洲は府の遺産ではありません。今日は話に出ませんでした。私たちが自然団体は夢洲の自然を守りたい。●公述人のお三方のお話は分かりやすく、とても勉強になりました。どの方向から見ても、どう考えても成功しそうなないカジノ、万博。絶対に止めましょう。●大盛況で驚きました。意見口述(府民公述)がよかった。一般の人でも、上手に話されるものだと思います。●大阪府市及び国からの参加を次回必ず実現してください。●推進側、責任者側が出席しないのは想定内かもしれませんが、公平性を掲げて向こうに「総合的に判断して欠席」というお粗末な回答を引き出したことは大きな成果。運動で外堀を埋めていきましょう。●府・市の人が来なかったのがほんとに残念で、腹が立ちます。説明会での住民の意見、パブリックコメントを見たい。此花区の方の話にはびっくりした。●夢洲の土壌汚染など勉強になりました。私たちの税金で、無駄遣いするな!! 絶対反対。●すばらしい講演、集会でした。●公聴会の参加者の多さに正直驚いた。この運動を一層強くしたいと思った。「解除権」は初めて知った。これって本当になんだ。協定(案)等を家に帰って拡大鏡をもってちゃんと読みます。●パワーあふれる集会になりました。次はもう少し大きな会場を満パイにしたいです。●勝つまで闘いつづける熱気エネルギーを全身で感じられた集会。1月公聴会も大きく位置づけ成功させましょう●若年層・学生を巻き込んで運動、討論会は出来ないのか、ネット、大学自治会等 検討できたらと思います。●知らないことが多かった、知ることができて良かった。熱のある会場であり、かつ楽しい雰囲気があったらすごく気持ち盛り上がりました。一生懸命の方がこんなに大勢いて下さるのがとても心強いと思いました。●説明しなければならぬ立場の府・市・国の役人が欠席したのは、行政は逃げたと判断できます。許せません。解除権の件、府市は業者の引き留め、業者は逃げ徳。推進派は相当追い詰められている。●集会の後にパレードがあればよかった。アピールするためにもパレードとか街宣がいいと思います。●住民置き去りの万博やカジノは断じて許せません! 会場の熱気と多くの皆さんのカジノを止めたいという決意をこの目で確認し、これは止められるぞ! と思いを新たにしました。●来てよかった。いろいろ勉強になりました。さらに学んでいきたい。●カジノ反対。ギャンブル依存症問題 大切で。これからも増えないように、依存症の方や回復に向かわないといけぬ。●大勢の参加で連帯感を感じることができる公聴会でした。地域からこんな取り組みをさらに続けていきます。●阪神ファンです! 先日、阪神とオリックスのパレード、なぜそこに阪神の旗も何もなく、ミャクミャクと知事出して、おまけにパレードの名前に「万博500日前」とか入れるのやめて欲しい。反対派を賛成派に変えるためにしてる。●カジノ・万博は本当にやめたい! 政治の腐敗に怒りしかない! マスコミの方にまともな報道してほしい! ●大阪府市が欠席なのが残念。公述人の方々の話がとてもよく、カジノはアカンと改めて思いました。●会場の満杯の参加で熱気があり、公述人の講演も新知識を知ることができ、とても良い公聴会。内容を少しでも広められるように、状況を知らない人たちに話をしていきたいと思いました。公述人市民の此花区民、外国人、青年の具体的、力強い話がよかった。●此花区民の方の公述が知らなかった区の実態がわかって大変参考になりました。●府民の運動のあり方を教えていただきました。●チケットをカンパで買ってくれた障がい者の方が維新を止めたいと言ってくれた。これからもガンバロー●おかしいことはおかしい。間違っていることは間違っている。と言いつづけよう、という気持ちを改めて強くすることができました。万博カジノをさせないために力をいただくことができました。●市民・府民に知らされていないことがたくさんあることを知りました。次回も出席したい。●「双方向の対話の場」という積極的攻勢的な府民による公聴会に大賛成。岸和田から老人が出向いた理由です。「公述人の意見口述」全員素晴らしいものでした。来てよかった。●松原市でカジノに反対する会をしています。足元のできることから万博・カジノ・IR反対の声を広げていきたい。●自分の思いを人に伝える事が出来ない私ですが、今日は本当にありがとうございました。発言して下さった方々にお礼を申し上げます。良くぞ声を上げて下さいました。楽しい気持ちです。感謝、感謝です。●運動の力、私たちの力を認識、再認識できる場でした。頑張りましょう。●地元では、万博を楽しみにしている人が多いように感じています。●今日の会場で、参加されている方々の熱気を感じて安心しました。●IR不用の考え、公金のむだな支出がよく理解できた。●広範な層の参加に励まされました。高槻市でも、広く、深く、運動を継続したいと思います。参考になる資料準備ありがとうございました。